

3-7 教育改革事務部門管理者会議

本会議は、事務部門の最高責任者の方々を対象とした理事長・学長会議の事務局版と位置づけ、教育改革を進める上でのマネジメント全般に関する問題、情報化戦略について理解を深めることを目的として、これまでの「事務部門管理者会議」から「教育改革事務部門管理者会議」に改称して再出発することとなり、19年度で11回目となる。

19年度は、人材育成のため教職一体となった教育活動への取り組みと職員の職能開発、ファカルティ・ディベロップメントの実効を高める取り組みを紹介することで、教育改革への大学努力の実際と課題について共通理解を得ることとした。また、教育の質保証に関する国や産業界の動き、教育の情報化評価に関する自己点検・評価ガイドライン、補助金活用の留意点、ソフトウェア適正管理のガイドラインなど、以下の通りの開催要項を決定した。

平成19年度教育改革事務部門管理者会議開催要項

日 時： 平成19年11月30日（金）13：00～17：30

場 所： アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）3F富士の間

I. 開催趣旨

20年度よりファカルティ・ディベロップメントが義務化されることに伴い、大学は教育改革に向け本格的な取り組みが要請される。とりわけ教員の教育力を再開発する組織・体制・支援の充実、学習支援、進路等相談・助言支援の整備、教育改革のマネジメント強化など、職員として対応すべき課題が山積している。改革を進める中で職員がどのように対応することが望まれるか、情報化戦略も含め探求する。

II. プログラム

13:00 開会挨拶 戸 高 敏 之 会長（私立大学情報教育協会）

13:05 紹 介

「人材育成のための教職連携と能力開発」

大学の教育理念に基づき、責任ある人材育成の実現をすべく教職員が一体となって取り組んでいる教育活動、修学活動、教育マネジメントの実践を踏まえて、教職員の意識改革、ITを活用した教育・修学支援、FD・SDへの取り組みと課題について事例を紹介いただく。

説 明：福 田 謙 之 氏（金沢工業大学常任理事）

14:10 紹 介

「F Dの実質化を目指す大学の取り組みと課題」

教育の質保証を実現する大学の取り組みとして、F D活動の推進普及と活動内容の実効性が求められる。カリキュラム・履修等の見直し、教育内容・教育方法の改善、教育効果の検証、導入教育の充実、教員活動支援の補助、授業でのI T活用支援など、「教育開発センター」を設置して取り組んでいる事例を紹介いただく。

説 明：圓 月 勝 博 氏（同志社大学教務部長）

15:15 休 憩

15:30 話題提供

「教育の質保証をめぐる政府・経済界の動き」

経済同友会の「教育の視点から大学を変える」、教育再生会議第二次報告「社会総がかりで教育再生を」、中央教育審議会大学分科会での「学士課程教育の現状と課題」などを踏まえた動きについて説明する。

説 明：井 端 正 臣 事務局長（私立大学情報教育協会）

15:50 関連情報提供

「教育情報化の自己点検・評価ガイドライン」

「18年度大学・短期大学情報投資の実態」

「20年度私立大学関係補助金の概算要求」

「情報関係補助金（装置・設備等）の入札・随意契約」

「市販ソフトウェアの適正管理（不正使用防止対策）ガイドライン」

説 明：私立大学情報教育協会事務局

16:30 コミュニケーション（立食形式による情報交換会）

17:30 閉 会

参加状況は、102大学5短期大学から153名と18年度と同様の参加であった。